



心癒され 花咲く笑顔

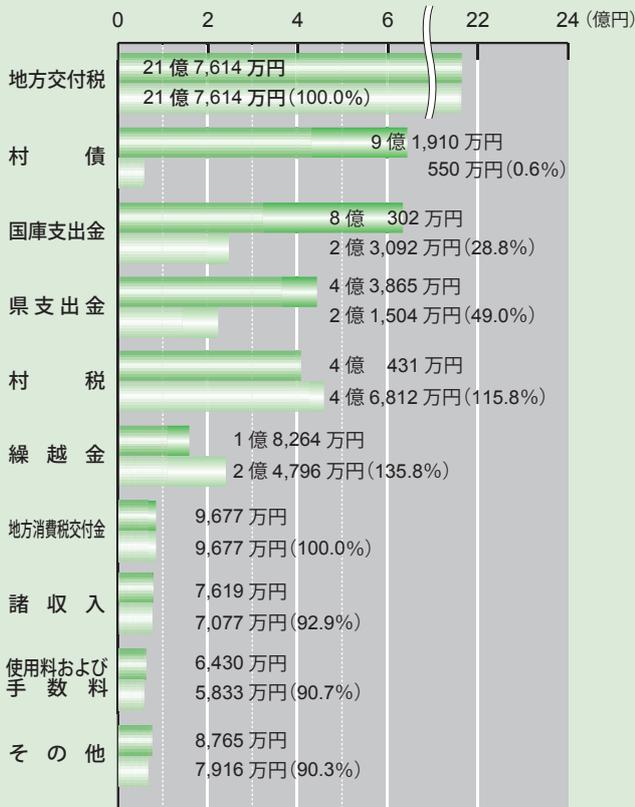
(5月3日、戸井良沢水芭蕉まつり)

主な内容

平成28年度下半期財政状況……………	2～3	九戸中学校体育祭……………	10
村消防演習……………	4～5	公民館学級がスタート……………	14
村婦人消防協力隊が全国大会へ……………	6	九戸さくらまつり……………	20

一般会計歳入の状況

- 予算額 52 億 4,877 万円
- 収入済額 36 億 4,872 万円
- 収入率 69.5%



※その他は、地方譲与税、分担金および負担金など

平成28年度

下半期の財政状況

(3月31日現在)

予算は約52億円

村の予算は、皆さんが納める村税、国や県からの補助金、交付金などで賄われています。村では、この予算の執行状況や財産の内訳などをお知らせするため、年に2回（上半期と下半期）、財政状況の公表を行っています。ここでは、平成28年度下半期（10月から3月まで）の一般会計・特別会計などの予算執行状況や公有財産、地方債の残高などをお知らせします。

災害復旧事業費など含み12億7千万増額

平成28年度一般会計の9月30日現在（上半期）の予算額は、39億7767万円でした。

村ではその後、昨年8月の台風10号による災害復旧事業費として10億7748万円を追加したほか、臨時福祉給付金やくのへパークゴルフ場の改修工事、(有)阿部悦三商店

からの寄付を受けてくのへスキー場のトイレ改修工事などを計上し、3月31日現在（下半期）の予算額を12億710万円増額の52億4877万円としました。

これは前年度と比較して8億4867万円（19.3%）多くなっています。

支出済額は約32億円で執行率は61.7%

上のグラフは、一般会計予算の執行状況を表しています。歳入の収入済額は36億4872万円、収入率は69.5%と前年同期と比べ16.2ポイント低くなっています。

一方、歳入の支出済額は、32億3948万円で執行率は61.7%と前年同期を8.7ポイント下回っています。

村債の残高は約38億円

財源不足を補うために村が国などから借り入れる村債（借金）の残高は3月31日現在で38億3405万円。前年同期からは1億5630万円多くなっています。

村民一人当たりになると、約64万円となり、前年同期より4万円ほど多くなっています。（3月末住基人口で計算し6014人）。

公有財産・基金の状況

区分	3月31日現在高	9月30日との比較
土地	998,004㎡	+22,967㎡
建物	64,261㎡	±0㎡
有価証券	416万円	±0万円
出資による権利	7,349万円	±0万円
物件	公用車・消防車など 71台	+2台
財政調整基金	37億6,906万円	±0万円
人材育成基金	1億円	±0万円
減債基金	2億7,644万円	+11万円
地域振興基金	3億9,698万円	±0万円
その他の基金	8,158万円	+1,782万円

村債の状況

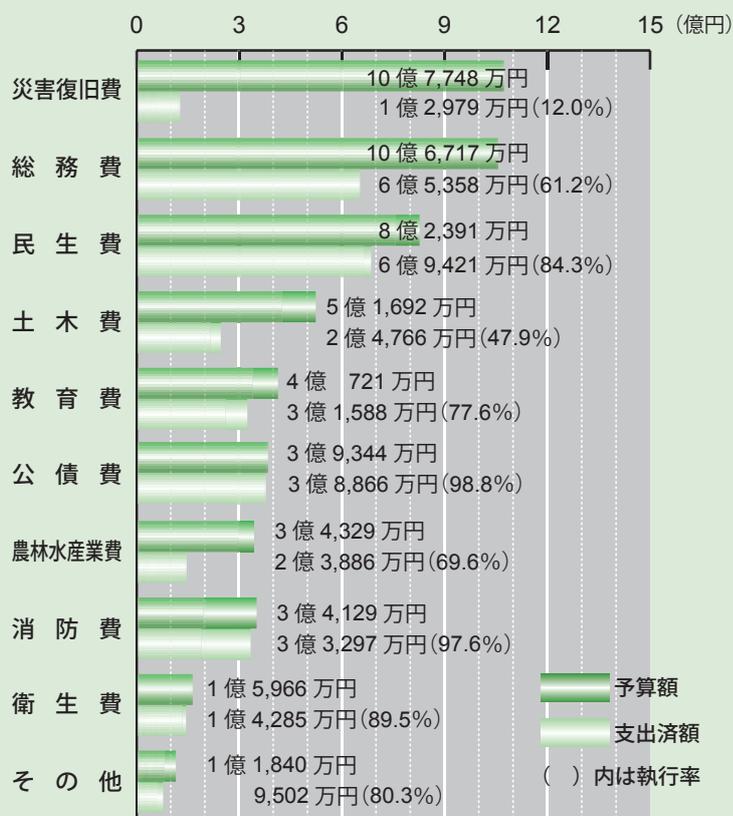
区分	3月31日現在高	9月30日との比較
政府資金	26億3,593万円	-2,382万円
地公体金融機構	7億1,569万円	-3,053万円
市中銀行など	4億6,630万円	-2,857万円
共済など	1,062万円	-472万円
岩手県基金	551万円	-437万円
合計	38億3,405万円	-9,201万円



災害復旧事業費として約10億7千万円増額しました

一般会計歳出の状況

- 予算額 52億4,877万円
- 支出済額 32億3,948万円
- 執行率 61.7%



※その他は、商工費、議会費、予備費

水道事業会計の状況

- 収益的収入と支出…1年間の経営活動の収支

(単位:万円)

収入	科目	予算額	収入済額	支出	科目	予算額	支出済額
	水道料金	11,934	12,006		浄・配・水費用	4,390	3,194
一般会計補助金	97	97	施設等減価償却	6,411	6,411		
その他の収益	1,971	1,969	企業債利息償還	1,563	1,563		
合計	14,002	14,072	その他(総係費含む)	1,638	1,304		
			合計	14,002	12,472		

- 資本的収入と支出…施設改良と企業債(借入金)などの収支

(単位:万円)

収入	科目	予算額	収入済額	支出	科目	予算額	支出済額
	一般会計補助金	336	336		施設改良費	3,482	1,929
補償金	720	150	営業設備費	395	307		
負担金	432	391	企業債償還金	4,573	4,573		
合計	1,488	877	合計	8,450	6,809		

特別会計の状況

区分	予算額	収入済額 (収入率)	支出済額 (執行率)
国民健康保険	8億776万円	6億4,242万円 (79.5%)	7億5,807万円 (93.8%)
後期高齢	5,671万円	5,442万円 (96.0%)	5,070万円 (89.4%)
農業集落排水事業	3,295万円	3,287万円 (99.8%)	2,584万円 (78.4%)
下水道事業	1億3,513万円	1億3,342万円 (98.7%)	1億1,896万円 (88.0%)
索道事業	1,738万円	404万円 (23.2%)	1,631万円 (93.8%)
戸田財産区	1,637万円	1,683万円 (102.8%)	1,429万円 (87.3%)
伊保内財産区	631万円	507万円 (80.4%)	482万円 (76.4%)
江刺家財産区	711万円	430万円 (60.5%)	602万円 (84.7%)
合計	10億7,972万円	8億9,337万円 (82.7%)	9億9,501万円 (92.2%)

※収入済額より支出済額が多い会計については、会計間で一時運用を行っています。

平成 29 年度
村消防演習

士気旺盛な消防魂 洗練された部隊訓練

村消防演習は 4 月 29 日、江刺家小学校校庭を主会場に行われました。

早朝 6 時 50 分、ラップ隊を先頭に村消防団員たちは、柿の木のバス停から同校校

庭へ堂々と入場行進。村消防団員や村婦人消防協力隊など 214 人が、地域住民に洗練された威風堂々とした迫力ある雄姿を見せてくれました。

統監である五枚橋久夫村長が「村消防団の伝統と誇りが、輝きを失うことなく受け継がれていることを実感し、心強く感じる。日頃磨き上げられた訓練の成果と、郷土愛護の精神によって培われてきた消防魂を堂々披露していただきたい」と訓示を述べました。

統監から態度や服装の点検を受ける観閲では、団員たちが力強いきりりとしたまなざしで、目迎、目送をしていました。

部隊は指揮者の号令の下、隊列を変えながら次々に部隊訓練を披露。小隊から中隊、大隊と人数が多くなっても隊列を乱さず、節度ある訓練成果を見せていました。

村内園児によって結成された村幼年消防クラブも駆け付け、音楽に合わせて



地元江刺家地区によって編成された 1 個小隊 27 人



「火遊びしません」と元気に誓う幼年消防クラブ



士気高める音色を奏でながらドリル行進するラップ隊



息の合った歩調で中隊訓練を披露した第 2 中隊（戸田地区）



高い志を持って統制の取れた小隊訓練の成果を披露した、

ンスを踊り、火の用心を力強く誓ってくれました。

部隊は移動し、第4分団屯所前での分列行進。山根小学校少年消防クラブを先頭に、土気旺盛な消防魂を示してくれました。

瀬月内川に架かる山屋橋の上流では、全15分団が集まり放水訓練。ラップ隊の華やかな演奏を合図に空高く水柱が放たれました。

演習を楽しみにしていた家族連れなどが多く駆け付け、精錬された迫力ある雄姿が村民に安心感を与えてくれました。



高い水圧を協力し抑え、空高く水柱を打ち上げた放水訓練



力強く元気に分列行進する山根小学校少年消防クラブ

消防活動に功績があり、この日、表彰された人を紹介します。(敬称略。○内の数字は分団名、Ⓢは団本部)

■村長表彰

▽功績証(勤続25年)

- 觸澤 勝幸② 皆川 愛樹②
- 上宿 当④ 細川 忍⑤
- 澤頭 誠⑦ 本堂 友明⑩
- 南 広行⑭

■岩手県消防協会二戸地区支部長表彰

▽優良竿頭級

第2分団 第10分団

▽功労章(勤続20年)

- 皆川 卓麻② 福田 孝彦⑦
- 山本 貴広⑦ 山本 明智⑦
- 和田 光司⑩

▽功績章(勤続15年)

- 関端 祐介② 古館 一則③
- 千葉 利行③ 坂本 一幸③
- 古館 竜一③ 大崎 尚弘④
- 小笠原 忍④ 小笠原一将④
- 浅水 充伸⑤ 大崎 篤史⑤
- 七戸 俊夫⑤ 笹川 浩二⑥
- 櫻庭 寛⑥ 夏井 良法⑨

風張 直樹⑩ 尾友 秀徳⑩

▽精練章(勤続3年)

- 大久保 龍① 山下 幸一①
- 佐藤 康輔① 小澤 伸子②
- 関口 直子② 細川 猛⑤
- 栗谷川隆利⑥ 笹川 慎司⑥
- 山下 浩樹⑧ 山本 健司⑩
- 館 伸幸⑩ 平中 玲⑪
- 玉川 翔⑫

▽勤続章(勤続10年)

- 野田アサ子Ⓢ 尾友 真也①
- 小野寺敏之① 山口 琢也④

大崎 健⑤

■村消防団長特別表彰

▽優良分団表彰

- 第2分団 第14分団
- 永年勤続退職消防団員感謝状
- 山下 正幸 山下 幸信
- 小田沢貞治 古館 智
- 日野澤勝昭 小田 忍
- 関向 信彦

■岩手県消防協会会長表彰

- ▽功績章 和蛇田達也
- ▽功績章 高倉 正勝
- ▽功績章 和蛇田達也
- 久保 和明 山本 隆也
- ▽優良婦人消防協力隊員 桎切澤るみ子

《平成28年度被表彰者》

- ▽永年勤続功労章 高松 秀宣
- ▽内助功労感謝状 河村 恵子 山本キミエ

協力隊が全国大会へ

村婦人消防協力隊が9月30日に秋田市で行われる、全国女性消防操法大会に岩



機敏な操法を披露する協力隊員（消防演習）

手県代表として出場するこ

とが決まりました。全国女

性消防操法大会は2年に1

度開かれ、県内からは唯一

本村の協力隊が出場し、岩

手県代表として選出されま

した。

出場する選手は第1、2、

4 婦人協力隊から3人ずつ

を選出。9月に控える全国

大会に向けて練習を積み重

ね、操作員5人と補助員1

人の合計6人が県の代表と

して、47都道府県から集まっ

村婦人消防協力隊長



三春 依子 隊長

全国大会の出場は、これから村婦人消防協力隊を盛り上げていくために、いい機会になると思う。夫や子ども、家族から協力いただき、上位入賞できるチームを目指したい。大会後、家族など支援していただいた人たちに、ありがとうと言えるチームにしていきたい。



規律の取れた部隊訓練をする第4協力隊（消防演習）

た代表選手と、全国の舞台で頂点を競います。

大会では軽可搬ポンプを

使用し、指揮者の号令の下、

手で広げた3本のホースを

つなげて、約60メートル先

にある標的へ向けて放水。

標的に放水を当てるまでの

時間や、操作員の土気、規

律や節度などが審査対象と

なり、合計得点によって優

勝が競われます。

本村からは平成5年以來、

2回目となる全国の舞台で、

今まで引き継がれてきた伝

統と培われてきた技術が遺

憾なく発揮されることが期

待されます。

太陽光発電に商品券15万円

村では、住宅用太陽光発電システムを村内の事業者によって設置する村民（個人）に対し、太陽電池容量1kW当たり3万円（15万円限度）の額の九戸商業協同組合共通商品券を交付します。

■太陽光発電システムとは？

太陽電池を利用して電気を発生させるための設備。

■対象住宅

自らが居住する村内の住宅、または住宅として使用

予定のもの。

■対象者

①村内に住所を有する、または住所を有する見込みである人。

②村税その他村に対する債務の不履行がない人。

※この交付は同一住宅および同一世帯にて1回限り。

■対象システム

①新たに設置される未使用



太陽光発電の設置に商品券を交付します

品の太陽電池発電。

②太陽光発電による電気が、設置住宅で消費されるもの。

③年度内に設置を完了し、かつ稼働するもの。

④国の補助事業で規定する性能を満たすもの。

■申し込み・問い合わせ

農林建設課地域整備班（☎42・2111内線283）

また、村内事業者にも気軽に相談ください。

1 新築に10万円の商品券

住宅建設を村内事業者によって行う場合に要した経費に対し、10万円の額の九戸商業協同組合共通商品券を交付します。

■対象住宅

① 村内に建設する個人所有の住宅。対象者が床面積の2分の1以上を所有し、かつ、居住の用に供する住宅。

② 当該住宅建設に要する経費が100万円以上のもの。
③ 年度内に完成する住宅。
※他の補助などを受ける部分は対象となりません。

■対象者

① 住宅完成時に村内に住所を有する人。
② 村税その他村に対する債務を滞納していない人。

2 リフォームに商品券

住宅のリフォーム工事を村内事業者によって行った場合に要した経費に対し、10%以内（上限10万円）の額の九戸商業協同組合共通商品券を交付します。

■対象住宅

自己または自己と生計を一にする親族が床面積の2分の1以上を居住の用に供している住宅。さらに、対象者が床面積の2分の1以上を所有し、村内に1年以上存する個人所有の住宅。

■対象者

① 村内に住所を有する人。
② 村税その他村に対する債務を滞納していない人。
③ 対象工事で他の補助金などを受けていない人。
※この助成は同一住宅および同一人につき1回限り。

■対象工事

① 工事が30万円以上。
② 対象者が所有し、居住する部分の工事。
③ 年度内に完了する工事。
※対象外の工事もあります。



居宅補助制度 を紹介します



3 耐震診断に助成

住宅の安全性を確認するため、耐震診断士を派遣して耐震診断を行います。

■対象住宅

村内の戸建て木造住宅で、昭和56年5月31日以前に在来軸組工法によって着工された住宅。

※昭和56年以降に増築などを行っている住宅は対象外。

■診断費用

本人負担額 3000円

■実施件数

若干



4 耐震改修に最大60万補助

耐震改修工事に要する経費に対して最大60万円を補助します。

■対象住宅

① 耐震診断の結果、倒壊する可能性がある」と診断された住宅。
② 村内の戸建て木造住宅で、昭和56年5月31日以前に在来軸組工法によって着工された住宅。

■補助金の額

対象経費の2分の1以内かつ60万円を限度とする額。

■申し込み・問い合わせ

農林建設課地域整備班（☎42・2111内線283）
※補助に限りがありますので、事前に連絡ください。

受診しよう！大腸がん検診

《検診日程》

月 日	回収受付時間	対象地区	容器回収場所
6月27日 (火)	6時30分～6時45分	瀬月内	瀬月内集落センター前
	7時00分～7時15分	宇堂口	宇堂口地区農村婦人の家前
	7時30分～7時45分	泥の木	泥の木集落センター前
	8時00分～8時30分	戸田上	村老人福祉センター前
	6時30分～6時45分	山屋	山屋集落センター前
	7時00分～7時30分	江刺家上	江刺家ふるさとセンター前
	7時50分～8時30分	南田	保健センター
6月28日 (水)	6時30分～6時45分	荒田	荒田地区集落センター前
	7時00分～7時15分	五枚橋	五枚橋公民館前
	7時30分～7時45分	雪屋	雪屋公民館前
	8時00分～8時30分	細屋	細屋ふれあいセンター前
	6時30分～6時45分	戸田館の下	館の下公民館前
	7時00分～7時30分	山根	山根集落センター前
	7時50分～8時30分	伊保内下、小倉	保健センター
6月29日 (木)	6時30分～7時00分	平内	平内公民館前
	7時15分～7時45分	妻の神	妻の神集落センター前
	8時00分～8時30分	戸田下	戸田老人福祉センター前
	6時30分～6時45分	田代	田代生活改善センター前
	7時00分～7時30分	長興寺上・下、大向	長興寺多目的集会施設銀杏会館前
	7時50分～8時30分	伊保内上、鹿島	保健センター
6月30日 (金)	6時30分～6時45分	丸木橋	丸木橋サークルセンター前
	7時00分～7時15分	道地	おりつめ構造改善センター前
	7時30分～8時15分	柿の木、江刺家下	江刺家ふるさとセンター前
	6時30分～7時00分	荒谷	荒谷桂藤会館前
	7時15分～7時30分	二ツ家	二ツ家公民館前
	7時45分～9時00分	川向、予備日(未提出者)	保健センター

大腸がんは動物性脂肪の取り過ぎや食物繊維の摂取量の減少など、食事の欧米化が原因で年々増加しています。大腸がんは進行するまでほとんど自覚症状がありませんが、早期発見・治療をすれば、ほぼ治すことができます。検診を受けて大腸がんの早期発見に努めましょう。

■対象者

40歳以上

(平成29年4月1日現在)

※勤務先で同検診がある場合はそちらで受診しましょう。

■検診料

600円

※住民税非課税世帯と70歳以上(平成29年4月1日現在)の人は無料です。

■検診について

○採便容器に同封してある「正しい大便の取り方」をよく読み、正しく採便してください。

・2日間、別々の容器に採便します。どちらの容器が最初でも構いません。

・採便する日は、容器を提出する日の4日前から採便可能です。

・生理中は避けてください。

○大腸がん検診受検票は、必要事項を必ず記入し、採

便容器・検診料と一緒に提出してください。

○未使用の採便容器は一般廃棄物として処分できませんので、都合によって検診を受けられない人は、必ず返却ください。

■その他

検診を申し込みしていない人で検診を希望する人は、保健センターへ連絡ください。採便容器と受検票を渡します。

■検診日程

指定日に提出できない場合は、最終日、もしくはいづれかの会場にて提出してください。また、受付時間内に提出できなかった場合は、保健センターに午前9時まで届けてください。

■申し込み・問い合わせ

住民生活課保健衛生班(☎42・2111内線122)

障害者向けの改造に補助

村では重度の身体障害者の社会参加および介護者の負担軽減のため、自動車の改造に要する経費を補助します。

■対象となる人

① 重度身体障害者
身体障害者手帳の等級が1～2級の人のうち、上肢、下肢または体幹機能に障害のある人

② 介護者

重度身体障害者と同一世帯に属する介護者、または重度身体障害者と同等の障害を有する18歳未満の人と



重度身体障害者の自動車改造経費を助成します

同一世帯に属する介護者

※いずれも所得制限があります。

■内容

次の経費の2分の1以内の額で、対象者1人につき10万円を限度として補助します。

① 重度身体障害者が所有し運転する自動車の操行装置、および駆動装置などの改造に要する経費

② 重度身体障害者または介護者が所有し、重度身体障害者の通院などのため使用する自動車に、容易に乗降できる装置を改造する経費。または同様の装置が装備された自動車を購入する場合、標準型車両本体価格との差額

■申し込み・問い合わせ

住民生活課地域福祉班（☎ 42・2111内線202）

対象要件の確認が必要になりますので、事前に相談ください。改造後の申請はできませんので、必ず着工前に相談ください。

平成 29・30 年度保健推進員を紹介

平成 29・30 年度の村保健推進員は下記の皆さんです。保健推進員は、村民の保健福祉の向上と保健活動の円滑な運営のために設置されています。

《主な仕事》 住民の相談を受け、必要な場合は保健師に連絡
健診などの住民への啓発・呼び掛け

地区	氏名	電話番号
瀬月内	桂川英子	43-2805
宇堂口	山口栄子	43-2656
泥の木	高倉久美子	43-2662
平内	澤頭節子	43-2873
妻の神	柳平聡子	43-2883
戸田上	月花力ヨ	43-2964
戸田下	三春由美子	43-2422
戸田館の下	橋本多恵子	43-2789
山根	上村恵子	43-2417
荒谷	小笠原トミ	42-3822
二ツ家	古里チヤ	42-3236
鹿島	吉川優美子	42-3983
伊保内上	岩澤ヒ口	42-2605
伊保内下	中奥明子	42-2513
川向	冬部祐子	42-2037
	屋形場弘美	42-3819

地区	氏名	電話番号
南田	長者森啓子	42-2352
	高橋幸子	42-2031
小倉	櫻庭久美子	42-3668
長興寺上	大崎ともえ	42-3929
長興寺下	坂本節子	42-3154
大向	近藤保子	42-2486
五枚橋	大久保美雪	42-3168
荒田	古屋敷英久子	42-3865
雪屋	大崎久子	42-3583
田代	滝谷優子	42-4022
柿の木	秋元友子	42-2499
江刺家上	南端京子	42-2683
江刺家下	松本栄子	42-3291
道地	石川ユリ子	42-2160
丸木橋	丸木厚子	42-3786
山屋	谷地向香代子	42-3741
細屋	細川育子	42-3963

■問い合わせ 住民生活課保健衛生班（☎ 42-2111 内線 122）

m u r a n o w a d a i むらのわだい



水芭蕉の観賞を楽しむ来場者

戸井良沢水芭蕉まつり 陽光輝く春の妖精

5月3日、戸井良沢水芭蕉まつり（妻の神自治会主催）が戸井良沢水芭蕉公園で開かれました。澄み切った青空の下、県内外から多くの行楽客が訪れ、見頃を迎えた白く清楚で美しい水芭蕉や、薄紫色のかわいらしいカタクリが来場者の目を楽しませていました。天候にも恵まれたこの日、来場者はおしとやかに咲く水芭蕉や春の妖精とも呼ばれるカタクリを鑑賞したりカメラに収めたりと、九戸の春を満喫していました。

同自治会では地元産の焼き鳥や手作りドーナツ、あさりご飯などを特価で販売。行楽客は郷土料理に舌鼓を打ちながら、春の日差しを浴びて白く輝く水芭蕉や、豊かな自然に育まれたかれんな花を堪能していました。会田克彦さん・則子さん夫婦（二戸市福岡）は「初めて来たが、色鮮やかな花に心が癒される」と目を輝かせていました。



円柱の花序（花）を包む仏炎苞（ぶつえんほう・葉）が輝く水芭蕉



郷土の味覚を味わいながら九戸の春を満喫



最後まで集中してゴールを駆け抜けた100m走



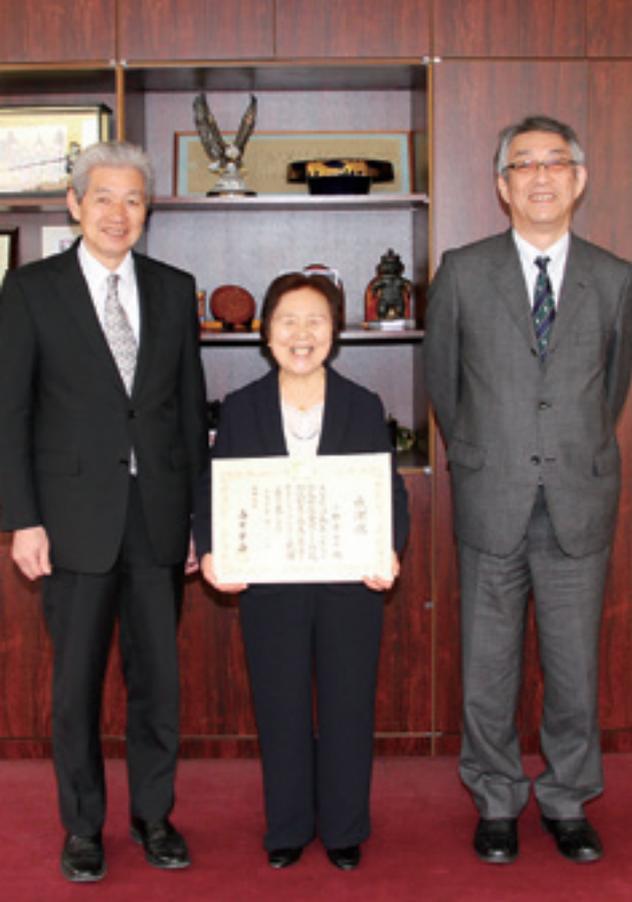
呼吸を合わせ、ゴールを目指す4人5脚

九戸中学校体育祭 壮気あふれる雄姿躍動

5月13日、九戸中学校校庭で体育祭が行われました。全校生徒150人がスローガン「壮」を掲げ、力を合わせて壮大な体育祭を繰り広げました。保護者などが見守る中、生徒たちは紅組と青組に分かれて優勝を競いました。100m走や200m走では最後まで全力で勇壮な走りを見せ、長縄跳びや綱引きでは声を掛け合いながら壮気あふれる雄姿で勝利を目指していました。陣地に待機している生徒たちは、休憩する時間を惜しんで、競技している仲間へ大きな声援を送っていました。競技の結果、優勝の栄冠は紅組に輝きました。



1回でも多く記録を伸ばそうと、掛け声を掛けて跳ぶ長縄跳び



総務大臣からの感謝状を喜ぶ小野寺エネさん（中央）

14年間、行政相談委員として貢献 小野寺エネさんに感謝状

行政相談委員を長年務めた小野寺エネさん（南田）に、総務大臣から感謝状が贈呈され、4月28日に役場村長室で表彰状が伝達されました。小野寺さんは平成15年4月から平成29年3月までの14年間、同委員として在職し、行政に関する苦情を受け付け、その解決を促進するとともに、行政サービスの改善に尽力されてきました。

小野寺さんは「支援してくれる人たちがいて、何一つ不安に思うことなく活動ができ、喜びや誇りにさえ感じた。これからも自分ができることで役に立ちたい」と感謝の言葉を述べていました。



豊かな自然に生まれ、一面に咲き渡った



公園の内外にかれんな姿で
咲き渡る多数のカタクリ



荒谷老人クラブが優良交通団体に表彰されました（写真は川原幸男さん）

交通功労者へ表彰状

1団体3個人が受賞

平成29年春季優良交通団体・交通功労者・優良運転者表彰式が5月12日、二戸地区合同庁舎で行われました。長年、交通ルールを順守し、交通安全に貢献してきた個人や団体に表彰状が贈られました。本村出身の受賞者を紹介します。（敬称略）

■県警察本部長・県交通安全協会長連名表彰 ▷優良交通団体 荒谷老人クラブ ▷交通功労者 山下キヨ子（川向）

■二戸警察署長・二戸地区交通安全協会長連名表彰 ▷交通功労者 橘君子（同）▷優良運転者 野中直樹（長興寺下）

戸田牧野で5月2日から放牧開始 輝く新緑へ駆け出す

村営戸田牧野では、5月2日から本年度の放牧が始まりました。澄み渡る青空の下、丹精込めて愛情持って育てられた牛たちが、トラックに乗せられて戸田牧野へ次々に搬入。この日は獣医師などの関係者が集まり、体重測定やワクチン接種、石灰塗布などを施した後、乳用牛62頭、肉用牛15頭を放牧しました。約43haにもわたる大草原に放牧された牛たちは、青々と生い茂った牧草を食べたり、元気に牧草地へ駆け出したりと、輝く新緑を満喫しているようでした。



寄生虫の除去や石灰塗布をした後、大草原に放牧されました

わが家の人気者

1歳のお誕生日おめでとう☆



上村 佳大くん

6月2日生まれ/長男/荒谷
(父)真樹さん(母)美穂子さん

「明るく元気に育ててください!!」
パパ・ママより

●7月に1歳を迎える赤ちゃんの写真を募集!! 希望する人は6月12日(月)までに、写真(データも可)を広報担当(☎42-2111 内線167)までお持ちください。

桜の若木 希望団体を募集

桜を植栽したい団体を募集します



桜若木の寄贈を希望する団体を募集します。要望する団体は、公益財団法人日本さくら会の会が実施している「宝くじ桜」寄贈事業に申し込みをします。

寄贈対象

宝くじ桜を植栽し、自然環境の保全に取り組み、公益活動をする自治会やNPO法人などの団体であり、次

の要件を満たす箇所とする

①桜を植栽することによって自然環境をより向上させ、将来、桜の名所になり得る箇所

②植栽計画、手入れ保全体制が整備されている箇所

寄贈物件

桜若木(樹高1.8m内外、品種数種)、事業表示石碑、品種表示板

寄贈本数

1箇所当たり50本以上(50本未満は対象外)

寄贈時期

平成29年12月上旬以降

審査決定

10月中旬に可否決定

募集期限

6月30日(金)

申請書類が必要となりますので問い合わせ願います。

申し込み・問い合わせ

農林建設課生産振興班(☎42・2111 内線251)

森林伐採には申請を

森林は、水を育んだり土砂災害を防いだりするさまざまな公益的機能を持っており、無秩序な伐採が相次ぐとその機能が失われる恐れがあります。

森林を伐採するときは、自分の所有する森林でも事前に届け出が必要となります。伐採の30日〜90日前までに農林建設課へ届け出るようお願いいたします。

また、保安林の指定を受けていると伐採は事前に許可を取る必要があります。無許可で伐採した場合は、岩手県の監督処分を受けま



森林を伐採するときは届け出が必要です

すので注意願います。

森林の開発についても許可申請が必要です。計画がありましたら連絡、相談ください。

森林取得時には届け出を

森林の土地の所有者となった場合、土地が所在する市町村へ届け出が義務付けられています。

対象者

個人・法人問わず、売買や相続などで山林を新たに所得した人は、面積にかかわらず届け出が必要となります。

届け出期間

土地の所有者となった日から90日以内に、取得した山林のある市町村長に届け出をしてください。届け出書類など、詳細については問い合わせください。

問い合わせ

農林建設課生産振興班(☎42・2111 内線251)

友達の輪 26

橋本 祐輔さん
32歳・山根



橋本祐輔さん(中)と
彪我君(右)と千花ちゃん

平成22年に結婚し、長男・彪我君(7歳)、長女・千花ちゃん(3歳)と家族4人で幸せに暮らしています。

◆趣味は？ 運動が好きで、九戸クラブ(軟式野球)や伊保内綱引きクラブにも所属し、体を動かしています。

◆休みの日は？ 子どもとキャッチボールをしたり、自転車で遊んだりして、家族と過ごしています。

◆一番の楽しみは？ 友達と釣りに出掛けることが楽しみです。

◆将来の夢は？ 家族を有名な温泉に連れて行って、のんびりしたいですね。

友達の輪をつなげていこうと、自分の友人を紹介していくコーナーです。

元気スマイル 27

山地 鉄藏さん
昭和4年6月5日生・87歳(山根)



若いときは農業を生業とし、10年以上、出稼にも出張。また、村老人クラブ連合会会長や山根部落会会長も務めてきました。

◆趣味は？ 将棋の駒を自分で作るほど、将棋を指す事が好き。

◆元気の秘けつは？ 食事は体の事を考えて無理せず食べる事。

◆一番の楽しみは？ 話をする事が好きで、友人と世間話に花を咲かせている。

◆一番の思い出は？ 元気で稼いでいた時が思い出深い。

むらの文芸

第349回くのへ俳句会

菅野 岑子

もう少し生きてみようか寒椿
本堂の戸の軽く開き四温晴
夫によく見ゆるところに雛飾る
寒禽の人の動きに聴くあり
里山の花ほつほつと点々と

冬部 雪女

初夏の風心身爽快歩の軽ろし
良く飲んで良く眠る児や初端午
住み古りて安らぐ在所若葉光
亡夫と逢うところは花の浄土かな
櫻蕊降る碑の薄れ文字

薫風に背を押されし句会道

田村 畦畔

思い馳す北海道巡り初夏の旅
孫二人何あげようか端午くる
山々に多様な色の若葉かな
蓬餅山菜入れて子に送る
戦争の恐怖ものせて春嵐
鯉のぼり泳ぐもまばら我が村も

高島ふみ女

巡り来る初夏に派手目な着古しで
珍らしき端午の幟過疎めけり
近況の沙汰崩し書く若葉の候
再会を約し級友と春惜しむ
ツーンとくる出湯の香りや宿おぼろ
暖かい日差しに包まれ亡夫の墓

館村 青村

初夏や九戸郷里の恙無し

高齡化の徒ならぬ世の端午かな

若葉雨祖霊の眠る円通寺

少子化の末恐ろしや子供の日

母の日の悔いや自責や母は無く

恬淡と生きて此の世の木の芽和え

月毎に人減る村や花の雨

【四月席題詠より】

他愛なく笑う仲間と春を酌む (ふみ女)

差し障りなき言動やおぼろ宿 (畦畔)

辛夷咲くあの歌聞こゆ我が耳に (雪女)

朝寝よしテレビかければ又眠る (青村)

極楽の花に包まる浄土かな (雪女)

せせらぎの音に音添ふ春の川 (青村)

退路無き齡となりて焼く目刺 (青村)

老鏡に入りて自在や花に歩す (青村)



公民館学級 がスタート



公民館では公民館学級を開催し、地域の公民館活動を推進しています。さまざまな学習機会を提供し、自主的な学習を奨励するとともに、交流と仲間づくりを支援します。本年度は次の8つの教室を開催します。

■書道教室

5月～2月(全10回)・夜間

■パッチワーク教室

5月～10月(全6回)・昼間

■着付け教室

5月～9月(全8回)・夜間

■料理教室

5月～1月(全8回)・昼間

■ステンドグラス教室

9月～10月(全3回)・昼間

■整理収納教室

11月～12月(全3回)・昼間

■小中学生ボールルームダンス教室

6月～12月(全10回)・夜間

■陶芸教室

6月～9月(全6回)・昼間

6月～9月(全6回)・夜間

既に始まっている教室でも申し込みが可能ですので、ぜひ参加してみませんか?

■申し込み・問い合わせ

公民館(☎42・21111 内線312)

仲間と調理に笑顔咲く

5月18日に村山村開発センター調理室で行われた、



会話を弾ませながら調理を楽しむ参加者

初回の料理教室には11人が参加。坂本順二さん(68歳 大向)を講師に迎え、煮込みハンバーグやサボイア風の野菜スープなど4品目の料理に挑戦しました。

参加者はフランス料理を取り入れたメニューを協力して、会話を楽しみながら調理していました。七戸ルミ子さん(61歳 細屋)は「初めて参加したが、調理方法が学びながら仲間づくりができてうれしい」と笑顔が浮かべていました。

着付け教室に意欲あふれる

5月19日、村山村開発センター和室で行われた初回の着付け教室には5人が参加し、山田キヨエさん(70歳 川向)から着物の着付け方法を学びました。和服の中には襦袢をまとい、半幅帯による帯の結び方などを教わっていました。初めて参加したという鶴岡ハナエさん(73歳 川向)は、「1人で着付けができるよう継



楽しそうに学ぶ着付け教室

続していきたい」と意欲を見せていました。

芸術功労者へ表彰

村文化協会総会は5月12日、HOZホールで開かれました。会員など51人が出席し、平成28年度の事業と決算、平成29年度の計画と予算案が提案され、原案の通り可決されました。



芸術文化功労賞を受賞した古館保男さん

席上、村の芸術文

化の発展に貢献された方々へ表彰状が贈られました。

受賞者は次の通りです。(敬称略、学校名・学年は受賞時)

▽芸術文化功労賞

古館保男(大向)、松倉苗子(南田)

▽芸術文化指導者賞

松澤則雄(伊保内下)

▽芸術文化奨励賞

日和蓮志(山根小6年)、小沼玖慧(同)

九戸中 学 校

体育祭が成功裏

お手伝いいただいた保護者の皆さま、惜しみない声援をいただいた来賓の方々、地域の皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

(副校長 山崎弘貴)

5月13日、降雨が心配される中、九戸中学校体育祭が行われました。大会スローガン「壮」の下に、全校生徒150人が一丸となって取り組み、成功裏に終了することができました。



紅組テーマ「翔輝」(高い空を速く飛び、輝くの意を込めて)



青組テーマ「青皇」(何事にも頂点に立つの意を込めて)

伊保内高校

清掃で実感 地域の優しさ

養護助教諭 中田 道子

伊保内高等学校では4月21日、クリーン九戸行動に合わせ生徒65人が地域の清掃活動を行いました。野球部、バレーボール部、バスケットボール部、美術部、吹奏楽部が参加し、部活動ごとに分かれてゴミ拾いをしました。

より地域を身近に感じながら清掃活動をすることができました。

本校から川向・南田地区、役場周辺、荒谷地区などの通学路を歩きながら進み、

地域の皆さんからは「ありがとう。ご苦労さま」など温かい声を掛けていただき、隅々まできれいにしようという気持ちが一層膨らみました。

村の自然と地域の優しさに触れ、日頃から環境美化に努める意識と、伊保内高

校生として地域貢献していく気持ちを高める機会となりました。



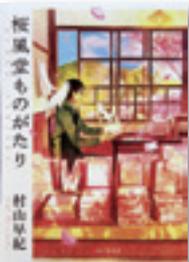
地域の環境美化に汗を流す伊保内高校の生徒たち

Books

❖ 今月のお薦め図書

桜風堂ものがたり

村山 早紀 著/PHP研究所



涙は流れるかもしれない。けれど悲しい涙ではありません。万引き事件がきっかけで、長年勤めた書店を辞めることになった青年。しかし、ある町で訪れた書店で彼に思いがけない出会いが…。

2017年本屋大賞ノミネート作品。

幸運は、必ず朝に訪れる。

耕野 俊明 著/秀和システム



朝を大切にしない。それは、一生を損して過ごすことと同じです。

毎朝の一工夫、それだけで人生を美しく変える。心身が整い、運気が集まる。永遠不変の禅の知恵50。世界が認めた禅僧による超シンプル開運術。

マチネの終わりに

平野 啓一郎 著/毎日新聞出版



たった3度出会った人が誰よりも深く愛した人だった。大人の切なく美しい恋物語。こんなふうには愛せたらと思わずにはいられない。

それなのに、どうして2人は一緒になれなかったのか、未来は常に過去を変えられるはずだったのに。

だめだめママだめ！

天野 慶 文/ほるぷ出版



ある満月の夜、窓から入ってきた怪しい影。次の朝、ママが駄目駄目になっていた。

もしもママが子どもみたいになっちゃったらうれしい？楽しい？それとも…？

○開館時間/平日9時～19時・土日祝9時～17時
○休館日/年末年始

体の健康はお口から

まずは自分の口の状態で思い当たる症状をチェックしてみましよう。

- 朝起きた時に口の中がネバネバする
- ブラッシング時に出血する
- 口臭が気になる
- 歯肉がむずがゆい、痛い
- 歯肉が赤くはれている
- 硬い物がかみにくい
- 歯が長くなったような気がする
- 歯と歯の間に隙間ができた、物が挟まる

※3つ以上当てはまる人

歯周病が進行している可能性があります。

※全て当てはまる人

歯周病の症状がかなり進んでいます。



■歯周病とは？

細菌の感染によって引き起こされる炎症性疾患です。歯と歯茎の境目などの掃除が行き届かないでいると、そこに歯垢がたまり、はれや口臭の原因となります。

大人の抜歯の原因第1位は虫歯ではなく歯周病といわれています。さらには、口の中だけでなく、心疾患、誤嚥性肺炎、糖尿病、早産など全身に影響するといわれています。

■全身の健康は口から

歯周病は30歳頃から増えるといわれていますが、若年層や子どもにも予備軍は大勢いるといわれています。また、喫煙やストレスなども歯周病を進行させるといわれています。

この機会に丁寧なブラッシングや、歯科受診だけでなく、禁煙を始めてみるのもお勧めです。全身の健康を守るためにも口の健康は重要です。子どもの頃からきれいな口の環境づくりを心掛けましよう。

(保健師 古館 里美)

村の医療費助成制度を紹介します

村では、医療費助成を左表の通り行っています。

◆受給者証の交付がある人

区分	対象者
乳幼児	就学前の乳幼児
妊産婦	妊娠5カ月の初日から出産の翌月末日までの人
重度心身障害者(児)	①身体障害者手帳1級、2級の人 ②特別児童扶養手当1級の人
一人親家庭	③障害者基礎年金1級の人 ④療育手帳Aの人 ①配偶者のない人で、18歳未満の子どもを扶養する人および、その扶養を受ける18歳未満の子ども ②父母のいない18歳未満の子ども
老人(村単)	※18歳未満の子どもとは、18歳に達する年度の3月末日までの人 68、69、73、74歳の人のうち、窓口負担が2割で後期高齢者医療保険制度に加入していない人(村外医療機関の外来分は対象外)

●転出や死亡などで資格を失ったときには、役場に返還していただくこととなります。

◆受給者証の交付がない人

区分	対象者
小中学生	小学1年生から中学3年生までの児童・生徒
高校生など	15歳に達する日以後最初の4月1日から、18歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある人
寡婦	寡婦となった日の属する月の初日から、70歳に達する月の末日までの間にある人(村外医療機関の外来分は対象外)

●領収書を添付し住民生活課で申請することで、自己負担相当額が補助されます。

※いずれの場合にも食事療養標準負担額、保険対象外の医療費に対して給付はありませんので、ご留意ください。

〔問〕住民生活課国保住民班 ☎42-2111 内線211

〔問〕二戸年金事務所 ☎23-4111

ご利用ください ねんきんネット

日本年金機構のインターネットサービスの「ねんきんネット」で、自分の年金加入記録や年金見込額を確認できます。

また、持ち主の分からない記録の検索や各種通知書の確認など、年金に関する便利なサービスを利用できます。

自宅でインターネットを利用している人は、日本年金機構のホー

ムページからねんきんネットの利用登録手続きを行ってください。

パソコン版のねんきんネットで提供しているサービスの一部は、スマートフォンからも利用できます。

なお、年金事務所でも年金加入記録の確認ができますので、ご利用ください。

消防署たより

〔問〕二戸消防署九戸分署 ☎42-3119

屋外での火の取り扱いに注意！

これからの時期はバーベキューなど、屋外で火を取り扱うことが多くなります。屋外で取り扱う火の危険性を知り、火災や事故を未然に防ぎましょう。

- 着火剤はつき足しをしない。
- 発電機へ給油するときは必ずエンジンを持ち、周囲で火気を使用していないことを確認する。
- 残り火の消火は、最後まで確実に



に行く。

村内の火災・救急（4月分）

区分	件数	1月から累計	前年比
火災	0件	0件	-1件
救急	26件	95件	-15件

駐在所ホットライン

〔問〕二戸警察署九戸駐在所 ☎42-2210

平成29年度警察官Aを募集します

平成29年度「岩手県警察官A（大卒以上）」採用試験の概要は次の通りです。

■受験資格（年齢・学歴）

○昭和59年4月2日以降生まれた人（男性・女性）

○大学（短期大学を除く）を卒業した人、または平成30年3月31日までに卒業見込みの人、またはこれらの人と同等の資格があると県人事委員会が認める人

■申込受付期限

6月16日（金）まで

■申込方法

○電子申請（県人事委員会事務局ホームページ）

○郵送または持参（岩手県警察本部警務部警務課宛）

郵送の場合：6月16日（金）までの消印有効

持参の場合：警察本部1階受付付けに持参

■第1次試験日および試験会場

○7月9日（日）

○盛岡会場：岩手大学学生センター
○埼玉会場：大宮ソニックシティ

■第2次試験日および試験会場

○第1次試験合格通知書で指定する日時（8月下旬～9月上旬頃）

○岩手県警察学校

■採用時期

○平成30年4月1日

ただし、欠員状況などによっては採用予定日を繰り上げる（平成29年10月）場合があります。

■採用予定数

○男性36人
○女性6人

■問い合わせ

県警察本部警務部警務課人事係

○フリーダイヤル

☎0120-20-4034

村内の交通事故（4月分）

区分	件数	1月からの累計	前年比
人身事故	0件	2件	+2件
物損事故	1件	21件	-5件
負傷者	0人	2人	+2人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転者	0人	1人	+1人

◎村の交通死亡事故ゼロ日数……934日
(4月30日現在)



6月4日～10日は 歯と口の健康週間

6月4日から10日までは歯と口の健康週間です。口は体の中で最初の消化器官です。

日頃から『健口』を意識し健康を保ちましょう。80歳まで丈夫な歯を20本残し、元気で楽しく暮らしましょう。

■歯と口の健康週間

6月4日(日)～10日(土)



税務職員採用試験 (高卒程度)を実施

仙台国税局では、バイタリティーあふれる税務職員を募集します。

■受験申込受付期間

6月19日(月)～28日(水)
受験申込はインターネット申し込みとする。

■受験資格

- ①高校卒業見込みの人および、高校卒業後3年を経過していない人
- ②人事院が①に掲げる人と同等の資格があると認める人

■第1次試験日 9月3日(日)

■問い合わせ 人事院東北事務局
(☎022-221-2022) または仙台国税局人事第二課試験研修係 (☎022-263-1111内線3236)

戦没者などの遺族へ 弔慰金を支給されます

戦没者などの遺族に対し、特別弔慰金が支給されます。請求手続きを取っていない人は早めに請求願います。

■支給内容

額面25万円(5年償還の国債)

■支給対象者

平成27年4月1日(基準日)において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」などを受けず、次の順番による先順位の遺族一人に支給されます。

- ①平成27年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した人
- ②戦没者などの子
- ③戦没者などの父母、孫、祖父母、兄弟姉妹
- ④上記①から③以外の戦没者などの3親等内の親族(おい、めいなど)

■請求期限

平成30年4月2日まで
※請求期限を過ぎると第10回特別弔慰金を受ける権利がなくなりますので、ご注意ください。

■請求窓口・問い合わせ先

住民生活課地域福祉班 (☎42-2111内線201)

休日当番医 (9:00～17:00)

月	日	医療機関	電話
6	4	二戸クリニック	25-5770
	11	すがわら消化器内科	23-2879
	18	金田一診療所	27-2205
	25	よこもり眼科クリニック	22-2230
7	2	千葉耳鼻咽喉科医院	23-2009

休日当番歯科医 (9:00～12:00)

月	日	医療機関	電話
6	4	ほんだ歯科クリニック	23-9591
	11	菅歯科	23-5161
	18	小野寺歯科医院	33-3050
	25	ますだ歯科クリニック	26-8282
7	2	ムカイダ歯科クリニック	46-4636

ごみ収集日 6月

収集区域	瀬内内/宇堂口/泥の木/平内/妻の神戸田上・下/館の下山根/荒谷/ニツ家	鹿島/伊保内上・下/川向/南田	小倉/長興寺上・下/大向/五枚橋/荒田雪屋/田代/柿の木江刺家上・下/道地丸木橋/山屋/細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
不燃・ビン・金物	6月5日(月)	6月6日(火)	6月12日(月)
空き缶	6月19日(月)	6月20日(火)	6月26日(月)
粗大ごみ		6月13日(火)	6月27日(火)
紙・プラ類	6月8日(木)	6月14日(水)	6月22日(木)

※指定日に、指定の袋で出しましょう。

☎住民生活課保健衛生班 ☎42-2111 内線 123

●6月の納税●

6月30日(金)までに

村県民税

を納めましょう



人のうごき

(平成29年5月1日現在)

●人口	6,010人	(-4)
男	2,896人	(-3)
女	3,114人	(-1)
●世帯数	2,171世帯	(+8)
	(カッコ内は前月比)	
転入	16人	(38人)
転出	16人	(73人)
出生	2人	(10人)
死亡	6人	(29人)
	(カッコ内は1月からの累計)	

大人の風しん 予防接種に助成

妊婦の風しん感染と発生防止を目的に、風しん予防接種の助成を行います。

■対象者

- ①妊娠を予定または希望している女性
- ②抗体価が低いと認められた妊婦の配偶者
- ①と②のうち、抗体検査の結果、抗体価が低い人

■助成額

- 風しんワクチン接種
3,000円
- 麻しん風しんワクチン接種
5,000円

■助成期間 平成29年4月1日(土)～平成30年3月31日(土)

■申し込み・問い合わせ 村住民生活課保健衛生班 (☎42-2111 内線123)

復興を確認 現場見学会

久慈・二戸地区の住民を対象に、復興の現場見学会を開催します。

■日時 7月1日(土)

午後1時～午後4時20分

■見学場所

- ①三陸鉄道震災学習列車(久慈市～普代村)
- ②普代水門(普代村)
- ③都市公園・防潮堤(野田村)

■定員 先着50人

■申込期限 6月26日(月)

■申し込み・問い合わせ 県北広域振興局経営企画部 (☎0194-53-4981 内線351)

ご利用ください くらしの相談窓口

暮らしの相談窓口を開設しています。また、出張相談会も開催しますのでご利用ください。個人の秘密や情報は守られます。

《くらしの相談窓口》

■開設時間 平日

午前8時30分～午後5時15分

■対象 二戸管内に住んでいる人

■場所 二戸市総合福祉センター

■相談内容 生活上の困り事など

《出張相談会》

■日時 7月27日(木)

午前10時～正午

■場所 村総合福祉センター

■問い合わせ 二戸市社会福祉協議会くらしの相談窓口 (☎43-3588)

労働者と使用者の トラブルは相談を

労働者と使用者との間のさまざまな問題について、県労働委員会の委員が相談に応じます。

■日時 6月25日(日)

午後1時～午後4時

■場所 久慈地区合同庁舎

※他日時、他会場あり

■申し込み・問い合わせ 県労働委員会事務局 (☎0120-610-797)

編集後記

◆広報6年目になっても締切期限に間に合わず、毎日あたふたしています。既に60回以上、編集に携わっているハズなのに…。◆働き方改革が注目されている中、早寝・早起き・朝ご飯を欠かさず、自己研さんに努めたいと思います。(下村)



「仲よし、わっしょい。笑顔、わっしょい、感謝、わっしょい」と元気に掛け声を掛けながら、子どもみこしを担ぐ長興寺小の児童たち

九戸さくらまつり

氣勢を上げ
みこし舞い踊る

5月5日、九戸神社例大祭と九戸さくらまつりが九戸神社境内にて行われ、帰省客などが集まり、にぎわいを見せていました。

すがすがしい陽気に恵まれたこの日、本殿では関係者30人が出席し、神事が執り行われました。千葉和彦宮司の先導の下、拝礼や玉串奉奠などによって無病息災を祈願しました。続いて、九戸神楽保存会のおはやしに合わせ、九戸神楽・権現舞が奉納されました。

九戸さくらまつりでは、長興寺小学校の児童27人が子どもみこしを奉納した後、九戸政実剣舞を元気に舞い踊りました。陽光輝き、桜が舞い散る中、4年生から6年生が掛け声を掛けながら、子どもみこしを担いで境内を歩きました。同校の校訓でもある「勤勉、

自立、感謝」の掛け声を掛けたり、「全力、わっしょい。元氣、わっしょい」などと、各学年の目標を唱和したりと、元気にみこしを担いでいました。

1年生から3年生は太鼓の音に合わせて、九戸政実剣舞をかわいらしく演じていました。黄、赤、青などの華やかな法被に身を包んだ児童たちは、引き継がれてきた伝統の舞を軽やかに踊っていました。

また、特設会場では九戸神楽保存会による注連切舞や同校児童による九戸音頭が元気に踊られ、来場者の目を楽しませていました。

小野寺ツキさん（83歳＝長興寺下）は「30年以上前から毎年来ていて、この日が楽しみ。力強くみこしを担ぐ姿を見てうれし」と、元気に演技する子どもたちに、目を細めて喜んでいました。

兄弟で権現舞を力強く舞う
下川原闘斗君（左）と一将君



九戸政実剣舞を元気に踊る
長興寺小学校の1～3年生児童



注連切舞を堂々と踊る古舘優香さん（左）、
荒田愛結実さん（中）、大崎莉奈さん

